

特集

# 種苗交換会受賞者の喜びの声

10月30日から11月5日まで男鹿市で開催された、『第137回秋田県種苗交換会』において、当管内から秋田県知事賞（1等賞）に5名が選ばれました。

ここでは受賞された方々の喜びの声や、農業にかける思い、今後への意気込みなどを掲載致します。



**清水 健吾さん**  
(能代市朴瀬字築法師)



ねぎ(夏扇2号)  
農林水産大臣賞  
秋田県知事賞

### 経営規模

○ねぎ …… 1.5 ha  
○水 稲 …… 2.5 ha

・受賞の感想  
「交換会に出品したねぎは去年より出来がよかったので、受賞する自信はありましたが、まさか大臣賞になるとは思いませんでした。親戚からのお祝いの言葉もあって受賞した実感が湧いてきました。また、地域の先輩農家の方々のアドバイスもねぎの栽培で大変参考になり感謝しています。」

・栽培への取り組み  
「何よりも病気をつけないのが一番だと思っています。そのために圃場の状態をみて防除などを徹底

しています。『白神ねぎ』は白根の部分が大変なので、葉の間に土が入らないように最後は手作業で土をかけ、『ぼけ』の発生予防に注意しています。機械だけに頼らず、ひと手間を惜しまない作業をすることで自分の納得するねぎができると思っています。」

### ・今後へ向けて

「面積は維持しつつ、ねぎの特産品化に向け、さらなる栽培技術向上を行っていきたいと思います。また、失敗を恐れずより良い『白神ねぎ』を作るために色々な方の話を聞き、吸収し、そして自慢のねぎで日本一の産地を目指したいです。」

